

2. 地域安全学会総会報告

去る5月26日に2001年度地域安全学会総会が開催されました。総会出席者は38名、委任状提出者は119名で総会は成立し、2000年度事業報告及び決算報告、2001年度事業計画及び予算、役員改選等が報告・審議され、了承されました。あわせて昨年度の論文奨励賞の授与式が行われました。その内容について、以下に掲載します。

(1) 2000年度事業報告

地域安全学会が2000年度に実施した事業は下記の通りである。

1. 総会の開催

2000年度総会を下記の通り開催し、審議・報告を行い可決された。

日 時：2000年5月27日(土) 16:00～16:30

場 所：早稲田大学理工学部 51号館 3階 第2会議室

主要議事： 1) 1999年度事業報告
2) 1999年度決算報告
3) 2000年度事業計画
4) 2000年度予算
5) 役員改選

出席者数：39名、委任状数：101名

2. 講演会の開催

講演会を下記の通り開催した。

日 時：2000年5月27日(土) 13:00～14:00

場 所：早稲田大学理工学部 51号館 3階 第2会議室

講 師：梶 秀樹 氏「開発と防災」

3. ミニシンポジウムの開催

ミニシンポジウムを下記の通り開催した。

主 催：調査・企画委員会

日 時：2000年5月27日(土) 14:10～16:10

場 所：早稲田大学理工学部 51号館 3階 第2会議室

テ ー マ：「阪神・淡路大震災から5年、何が変わったか、変わっていないか」

- 1) 被害予測と緊急対応
- 2) 被災者の自立と社会的支援
- 3) 防災体系の国際比較に向けて

4. 理事会の開催

2000年度は理事会を下記の通り開催した。

| | 開催年月日 | 出席者数 | 委任状数 |
|-----|-------------|------|------|
| 第1回 | 2000年5月27日 | 16 | 4 |
| 第2回 | 2000年7月29日 | 17 | 5 |
| 第3回 | 2000年9月30日 | 12 | 9 |
| 第4回 | 2000年11月17日 | 15 | 4 |
| 第5回 | 2001年2月3日 | 16 | 7 |
| 第6回 | 2001年3月10日 | 15 | 5 |

(定足数：16名)

5. 第10回研究発表会の開催

第10回研究発表会を下記の通り開催した。

日 時：2000年11月17日(金)～11月19日(日)

場 所：静岡県地震防災センター

担当理事：岩田孝仁、三船康道

発表論文数：論文集 33 編、梗概集 52 編（ポスター発表 27 編、口頭発表 25 編）

出席者数：169 名

6. 地域安全学会梗概集の刊行

第 10 回研究発表会の「地域安全学会梗概集 No.10」を刊行した。

担当理事：長能正武（副会長） 高梨成子

7. 学術委員会

「地域安全学会論文集 No.2」を刊行し、その論文発表を第 10 回研究発表会の中で行った。

論文賞（0 名）と論文奨励賞（1 名）の選出を行った。

担当：学術委員会

8. 調査・企画委員会の活動

ミニシンポジウムを下記のとおり開催した。

日時：2000 年 5 月 27 日 14:10～16:10

テーマ：「阪神・淡路大震災から 5 年、何が変わったか、変わっていないか」

下記の 3 グループに分かれて 3～6 回の委員会を開催し、主テーマ及び関連する事項について研究討議を進めた。また、研究発表会のポスターセッションで、各グループの研究報告を行った。（2000 年 11 月 18 日）

A：「被害予測と緊急対応」（幹事：佐土原聡（横浜国大） 目黒公郎（東大））

主テーマ：デジタル情報の防災への活用（自治体アンケート調査をまとめた）

B：「被災者の自立と社会的支援」（幹事：村上ひとみ（山口大）、小坂俊吉（都立大））

主テーマ：高齢者等災害弱者支援のための事前、応急防災対策

C：「防災体系の国際比較」（幹事：高梨成子（防災&情報研究所）、大西一嘉（神戸大））

主テーマ：日中防災法律体系の比較研究

北京国際ワークショップの共催（2000 年 6 月 26 日～27 日）

9. 会員名簿の改訂発行

会員の入退会に伴い、2000 年度会員名簿を発行した。

10. ニュースレターの発行

ニュースレターを下記の通り発行した。

| 発行 No. | 発行年月 | 編集担当 |
|--------|-------------|-----------|
| No.35 | 2000 年 8 月 | 糸井川栄一（理事） |
| No.36 | 2000 年 11 月 | 〃 |
| No.37 | 2001 年 3 月 | 〃 |

11. ホームページ

掲載内容の更新と充実に努めた。

担当理事：大西一嘉

12. 会員数及び年会費納入

2000 年度末（2001 年 3 月 31 日）現在の会員数及び会費納入状況は下記の通りである。

| | 会 員 数 | 会費納入状況 | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| | | 過年度分 | 本年度分 | 次年度分 |
| 賛助会員 | 3 社 | - - - | 3 社 | - - - |
| 正 会 員 | 410 名 | 51 名 | 351 名 | 3 名 |
| 学生会員 | 56 名 | 2 名 | 47 名 | - - - |

以 上

(2) 2 0 0 1 年度事業計画

地域安全学会が 2001 年度に計画している事業は下記の通りである。

1. 講演会の開催

講演会を下記の通り開催する。

日 時：2001 年 5 月 26 日（土）

場 所：早稲田大学理工学部

講 師：村上 處直氏（㈱防災都市計画研究所）

（担当 調査企画委員会）

2. ミニシンポジウムの開催：調査企画委員会の研究成果報告

ミニシンポジウムを下記の通り開催する。

日 時：2001 年 5 月 26 日（土）

場 所：早稲田大学理工学部

（担当 調査企画委員会）

3. 理事会の開催

2001 年度は理事会を下記の通り開催する。

第 1 回：2001 年 5 月

第 2 回：2001 年 7 月

第 3 回：2001 年 9 月

第 4 回：2001 年 11 月

第 5 回：2002 年 1 月

第 6 回：2002 年 3 月

4. 第 11 回研究発表会の開催

第 11 回研究発表会を下記の通り開催する。

日 時：2001 年 11 月 9 日(金)～11 月 11 日(日)

場 所：静岡県地震防災センター

（担当 研究発表会実行委員会）

5. 地域安全学会梗概集の刊行

第 11 回研究発表会において発表される論文の梗概集「地域安全学会梗概集 No.11」を刊行する。

（担当 研究発表会実行委員会）

6. 学術委員会活動

「地域安全学会論文集 No.3」を刊行し、その論文発表を第 11 回研究発表会の中で行う。

第 11 回研究発表会の論文賞と論文奨励賞の選出を行なう。

（担当 学術委員会）

7. 調査企画委員会活動

下記の2グループに分かれて委員会を5回程度開催し、研究討議を進めるとともに合同研究会を開催する。

I: 「人と地域の防災戦略研究小委員会」(仮)

II: 「防災体系国際比較研究小委員会」(仮)

(担当 調査企画委員会)

8. 会員名簿の改訂と発行

2000年度中の会員の入退会に伴い、2001年度会員名簿を発行する。

(担当 事務局)

9. ニュースレターの発行

ニュースレターを下記の通り計3回発行する。

No.38: 2001年8月

No.39: 2001年10月

No.40: 2002年3月

(担当 広報委員会)

10. ホームページ

学会からの情報提供をおこなう。

(担当 広報委員会)

以 上

(3) 2001年度 地域安全学会役員

(平成13年3月10日2000年度第6回理事会承認)

| | | | |
|-----|--------|-------------------------------|---------------------------|
| 会 長 | 熊谷 良雄 | 筑波大学 社会工学系 | |
| 副会長 | 林 春男 | 京都大学 防災研究所附属巨大災害研究センター | 総務・渉外担当副会長 日米都市防災会議委員長 |
| 副会長 | 翠川 三郎 | 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 | 学術担当副会長 / 学術委員長 |
| 理 事 | 糸井川 栄一 | 筑波大学 社会工学系 | 広報委員長 |
| 理 事 | 岩田 孝仁 | 静岡県 総務部防災局防災情報室 | 学術委員 / 研究発表会実行委員 |
| 理 事 | 大西 一嘉 | 神戸大学 建設学科 | 調査企画委員 / 広報委員 |
| 理 事 | 岡田 成幸 | 北海道大学大学院 工学研究科 | 学術委員 |
| 理 事 | 清野 純史 | 京都大学大学院 工学研究科 | 学術委員 |
| 理 事 | 佐土原 聡 | 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 | 研究発表会実行委員長 調査企画委員 |
| 理 事 | 塩野 計司 | 長岡工業高等専門学校 環境都市工学科 | 学術委員 / 調査企画委員 |
| 理 事 | 重川 希志依 | 富士常葉大学 環境防災学部 | 学術副委員長 |
| 理 事 | 高梨 成子 | (株)防災 & 情報研究所 | 研究発表会実行委員 調査企画委員 |
| 理 事 | 塚越 功 | 慶応義塾大学大学院 政策メディア研究科 | 受託研究運営委員長 |
| 理 事 | 中林 一樹 | 東京都立大学 都市研究所 | 日米都市防災会議委員 |
| 理 事 | 長能 正武 | 日本リスクマネジメント(株) 技術部 | 研究発表会実行委員 日米都市防災会議委員 |
| 理 事 | 廣井 脩 | 東京大学 社会情報研究所 | |
| 理 事 | 三船 康道 | (株)エコプラン | |
| 理 事 | 宮野 道雄 | 大阪市立大学 生活科学部 | 調査企画委員長 |
| 理 事 | 村上 ひとみ | 山口大学大学院 理工学研究科 | 調査企画委員 |
| 理 事 | 村尾 修 | 筑波大学 社会工学系 | 広報委員 |
| 理 事 | 室崎 益輝 | 神戸大学 都市安全研究センター | |
| 理 事 | 目黒 公郎 | 東京大学 生産技術研究所 | 学術委員 / 調査企画委員 |
| 理 事 | 矢代 晴実 | 東京海上火災保険(株) リスクマネジメント部 | |
| 理 事 | 山崎 文雄 | 東京大学 生産技術研究所 | |
| 理 事 | 吉井 博明 | 東京経済大学 コミュニケーション学部 | |
| 理 事 | 稲葉 昇 | 東京消防庁 防災部 | |
| 理 事 | 務台 俊介* | 総務省消防庁 防災課 | |
| 理 事 | 合田 純一 | 国土交通省都市・地域整備局 まちづくり推進課都市防災対策室 | |
| 理 事 | 大平 一典 | 国土交通省河川局 防災課災害対策室 | |
| 理 事 | 布村 明彦 | 内閣府 参事官(地震・火山対策担当) | |
| 監 事 | 井野 盛夫 | 富士常葉大学 環境防災学部 | |
| 監 事 | 村上 雅也 | 千葉大学 工学部 | |
| 顧 問 | 伊藤 滋 | 慶応義塾大学大学院 政策メディア研究科 | |
| 顧 問 | 小川 雄二郎 | アジア防災センター | |
| 顧 問 | 梶 秀樹 | 慶応義塾大学 総合政策科学部 | |
| 顧 問 | 片山 恒雄 | 文部科学省 防災科学技術研究所 | |
| 顧 問 | 亀田 弘行 | 京都大学 防災研究所 | |
| 顧 問 | 高野 公男 | (株)マヌ都市建築研究所 | |
| 顧 問 | 濱田 政則 | 早稲田大学 理工学部 | |
| 顧 問 | 村上 處直 | (株)防災都市計画研究所 | |

(*平成13年7月現在、総務省消防庁防災課人事異動のため前任の小熊氏から務台氏に変更)

(4) 2001 年度地域安全学会の組織・役員・業務分担

(平成 13 年 3 月 10 日 2000 年度第 6 回理事会決定)

1. 会長：熊谷 良雄（筑波大学 社会工学系）
理事会運営、総会運営、発表会等での挨拶、副会長担当外の学会内外の業務処理、学会の長期展望（学術団体化、法人化、税務対策等）
2. 副会長：林 春男（京都大学防災研究所 巨大災害研究センター）
総務・渉外担当 ～
：翠川 三郎（東京工業大学大学院 総合理工学研究科）
学術担当(～)
3. 監査役：井野 盛夫（富士常葉大学 環境防災学部）
：村上 雅也（千葉大学 工学部）
会計監査
4. 理事会：別紙（2001 年度地域安全学会役員名簿）
地域安全学会の運営全般、各種事項の承認
5. 顧問：別紙
理事会への助言
6. 委員会
学術委員会：翠川 三郎(前掲)
査読論文の投稿・査読規定、査読論文募集、同査読依頼、採否の判定、論文集刊行、発表会スケジュール編成、論文賞選定
調査企画委員会：宮野 道雄（大阪市立大学 生活科学部）
長期およびトピック的な課題の整理・分析とその学会員への提供、講演会・シンポジウムの開催、災害調査の企画・実施
受託研究運営委員会：塚越 功（慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科）
受託研究の受入れ・実施
日米都市防災会議委員会：林 春男(前掲)
広報委員会：糸井川 栄一（筑波大学 社会工学系）
ニュースレター編集・刊行、学会ホームページ管理
研究発表会実行委員会：佐土原 聡（横浜国立大学大学院 環境情報研究院）
一般投稿論文の募集、梗概集編集・刊行、発表会スケジュール編成、会場設営、懇親会開催、発表会のニュースレター用原稿の編集
7. 事務局（事務局長：宮本英治、庶務担当：小山 珠美）
会員管理、会員名簿発行、会費徴収と管理、予算の策定・執行管理、理事会・総会の開催事務、発表会参加者管理、その他の事務全般